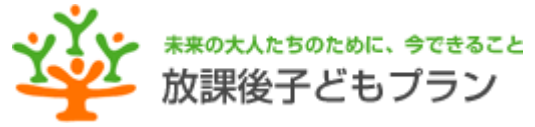


社会教育だより

放課後子どもプランについて



平成19年度より、「放課後子どもプラン」がスタートしました。「放課後子どもプラン」は、地域社会の中で、放課後や週末等に子どもたちが安全で安心して、健やかに育まれるよう、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を一体的あるいは連携して実施するものです。

具体的には、放課後や週末等の子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保したり、小学校の余剰教室などを活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施します。

県では、「放課後子どもプラン」を円滑に実施するために、放課後子ども教室の安全管理員、放課後児童クラブの放課後児童指導員等を対象として、子どもたちの安全安心な居場所の在り方や、実際の指導に役立つ実技等に関する研修会を、県内6地区で年2回開催しています。

※「放課後子どもプラン」の詳しい内容は「放課後子どもプランホームページ」をご覧ください。

(URL <http://www.houkago-plan.go.jp/>)

中南教育事務所では、平成20年6月26日（木）に「放課後子どもプランフォーラム」を、10月16日（木）に「放課後子どもプラン合同指導員等研修会」をそれぞれ弘前市立中央公民館岩木館を会場に開催しました。



放課後子どもプラン安全管理員等研修（前期）

「放課後子どもプランフォーラム」

～子どもたち一人一人の健やかな成長を考える～

- 1 趣 旨 放課後子どもプランを円滑に実施するために、放課後子ども教室の安全管理員、放課後児童クラブの放課後児童指導員等を対象として、子どもたちの安全安心な居場所の在り方や子どもたち一人一人の健やかな成長について考える研修会を開催する。
- 2 主 催 青森県、青森県教育委員会
- 3 主 管 中南教育事務所
- 4 期 日 平成20年6月26日（木）
- 5 会 場 弘前市立中央公民館岩木館
- 6 参加対象 放課後子ども教室安全管理員、放課後児童クラブ専任指導員、児童厚生員、放課後子どもプランコーディネーター、児童館関係者、放課後子どもプラン事業担当者（教育委員会職員、児童福祉関係職員）、各市町村運営委員会委員、学校教職員及びPTA、民生委員・主任児童委員、地域住民など

7 日 程	9:30	9:50	10:00	11:20	11:30	12:00	12:10
	受 付	開会行事	講 演	休憩	事例発表・ 質疑応答	閉会行事	

8 概 要

①講 演 「いろいろな子どもたちとのかかわり ～特別支援教育の立場から～」

講 師 国立大学法人弘前大学教育学部教授 松本敏治氏

昨年度のフォーラム実施後のアンケート結果を踏まえて、特別に支援を要する児童（特にグレーゾーンの子ども）への理解、支援についての講演していただきました。

《主な項目》※配付資料より

- 1 ADHDとは
 - ・不注意
 - ・衝動性、多動性
 - ・ADHDの日常での問題
- 2 LDとは
 - ・LDの定義
 - ・LDをどう考えるか
- 3 自閉症スペクトラムとは
 - ・社会性
 - ・想像力（こだわり）
- 4 LD、ADHD等の子どもたちと自己肯定感
 - ・自己肯定感を上げる指導のポイント
 - ・自己肯定感のエクササイズ
- 5 必要な指導・援助
 - ①対人関係を育てるために
 - ②ソーシャルストーリー
 - ③ADHDの子どもたちへ
 - ④自閉症の子どもたちへ



②事例発表 「放課後子ども教室と放課後児童クラブの融合 ～北津軽郡鶴田町の取組～」

発表者 鶴田町教育委員会主任主査 三浦良吉氏

鶴田町では、平成14年度から学校週5日制に対応し町独自の事業に取り組み、以後、地域子ども教室、鶴田町放課後児童健全育成事業、サンシャインスクールに発展させてきました。事例発表ではこれまでの経緯や、「地域にあった形」「担当者の融合」「指導員の融合」をキーワードに短い時間でまとめていただきました。

《主な項目》※配付資料より

- 1 事業に関わるきっかけ
 - ・学校5日制対応事業の始まり
 - ・「子ども教室」「児童館」「学校」の一体化
- 2 事業に関わる問題点
 - ①学校との話し合い
 - ②担当の一本化
 - ・子ども教室指導員と児童クラブの指導員とのトラブル
 - ・教育委員会と保健福祉課という管轄の違い
 - ・これらを解決するためにも担当を一本化
- 3 放課後子どもプランのスタート
 - ・国の施策と鶴田町が行ってきた方向性が合致し、放課後子どもプランとして事業を実施
 - ・安心・安全な居場所を確保するという原点に戻って事業を見直す
 - ・月1回の指導員会議を実施
- 4 全学校での実施
 - ・全ての学校での事業の実施を完了
- 5 地域の実情にあった形
- 6 まとめ



- ・文部科学省と厚生労働省という別の省庁が実施しているものを、一緒に行うことは大変困難なことであり、事業の実施には責任の所在を一本化することが大切
- ・施設として学校を利用する以上、学校の先生方の理解を得て協力してもらうことも重要



放課後子どもプラン安全管理員等研修（後期）

「放課後子どもプラン合同指導員等研修会」

- 1 趣 旨 放課後子どもプランを円滑に実施するために、放課後子ども教室の安全管理員、放課後児童クラブの専任指導員等を対象として、実際の指導場面に活かせるレクリエーションやゲームの体験を通じた子どもたちとの接し方やプログラムの作り方に関する研修会を開催する。
- 2 主 催 青森県、青森県教育委員会
- 3 主 管 中南教育事務所
- 4 期 日 平成20年10月16日（木）
- 5 会 場 弘前市立中央公民館岩木館
- 6 参加対象 放課後子ども教室安全管理員、放課後児童クラブ専任指導員、放課後子どもプランコーディネーター、児童館関係者、放課後子どもプラン事業担当者（教育委員会職員、児童福祉関係職員）、各市町村運営委員会委員

7 日 程	9:10	9:30	9:40	11:40	12:00
	受 付	開会行事	講義・実習	閉会行事	

8 概 要

講義・実習 「子どもたちと楽しむプログラムの作成」

講 師 NPO法人スポネット弘前クラブマネージャー 鹿内 葵氏

鹿内氏はスポネット弘前クラブマネージャーとして総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、スポーツ振興はもとより、スポーツを通じた「まちづくりの推進」「子どもの健全育成」「スポーツ環境の整備に関する事業」を推進し、いつでも、どこでも、だれでもが、楽しくスポーツできる場や環境を築いていくことを目的に、「スポーツで創る元気なまち」をテーマに様々な活動に取り組んでいます。

《主な項目》※配付資料より

1 アイスブレイクとは？

- ・実技：おそだしじゃんけん、肩たたきじゃんけん、手クロスたたき、りんごの皮むき

2 プロジェクト・アドベンチャーとは？

- ・実技：誕生日並び、人間知恵の輪、蛇じゃんけん、人間じゃんけん、脱出ゲーム、どじょうつかみ、大根ぬき、いもほり、森の中のりす

3 子どもの体力について（ビデオ）

4 実技

- ・コーディネーショントレーニングについて
- ・実技：背中タッチ、あしふみ、ひっくり返し、背中たち、前たち、世界一周、たいとたこ、



ひっぱりゲーム（前・後）、バランスゲーム、
開脚じゃんけん、L字倒し、大根抜き、新聞
ひっくり返し、新聞じゃんけん、新聞破り競争、
新聞丸め飛ばし競争、新聞侍おに、マントおに、
はちまきとり、しっぽとり、進化じゃんけん、
ラグビーおに、



5 プログラムを実施するにあたっての指導者のあり方

- ・子どものコーチングについて
- ・自分自身・相手を認める、受け入れるための実技
 - (1) 共感する・他人を知る：共通項探し
 - (2) 伝える難しさを知る：〇〇ゲーム
 - (3) 信頼関係：ブラインドウォーク
 - (4) ポジティブシンキング：社長部下ゲーム
 - (5) 相手を認める・受け入れる：長所探しゲーム



6 まとめ

- ・子どもの居場所となる雰囲気づくり。お互いを認めあう関係。